

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 製品番号 SDS No. 製造元 会社名 住所 電話番号 会社名（販売元） 住所 担当部門 電話番号 緊急時の電話番号 FAX 番号 Website 推奨用途及び使用上の制限	バイダス アッセイキット スタッフ エンテロトキシン II - STR (X10) 30705 910-00 bioMérieux Inc 100 Rodolphe Street - Durham, NC 27712 (800) 682-2666 ビオメリュー・ジャパン株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー2F 薬事部 03-6834-2666 03-6834-2718 03-6834-2667 http://www.biomerieux.co.jp/ 試薬
--	---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性 特別な有害性 主な症状 GHSラベル要素	区分なし 重篤な眼の損傷／眼刺激 区分 1 分類できない データなし 直接眼に接触した場合、一時的な刺激を引き起こす可能性がある。
--	---

シンボル



注意喚起語 危険有害性情報 注意書き	危険 H318:重篤な眼の損傷
--------------------------	--------------------

安全対策

P280:保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 P305 + P351 + P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

応急処置

4. 応急処置 を参照。

保存方法

7. 取扱い及び保管上の注意 を参照。

処理方法

13. 廃棄上の注意 を参照。

その他の危険性

データなし

特別情報

なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	CAS 番号
ジエタノールアミン	6.6	C ₄ H ₁₁ NO ₂	111-42-2
アジ化ナトリウム	0.1	N ₃ Na	26628-22-8
その他の成分	93.3	特定できない	—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

化学物質排出把握管理促進法
(化管法)

第一種 (政令番号 1-11)

アジ化ナトリウム

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (施行令第 18 条別表第 9 の 219) (6.6 %)

ジエタノールアミン

4. 応急措置

吸入した場合

症状が悪化または続く場合なら、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗い流すこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が続く場合には、医師の診断、手当てを受けること。

直ちに多量の水で 15 分間以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

症状が続くようなら、医師の診断を受けること。

口をすすぐこと。無意識 (意識不明) の場合又は痙攣を起こしている場合には、被害者の口からは何も入れないこと。

最も重要な症状及び影響 (急性/遅延性)

症状が現れた場合は、医師の手当、診断を受けること。

様々な眼刺激があり、症状の中には、刺すような痛み、裂傷、発赤、腫れ、霧視、なども含まれる場合がある。永続的な眼の損傷もあり、盲目になることもある。

発症時に注意すべき事項

症状により遅れて発症する可能性がある。

一般的な情報

気分がすぐれない場合は、医師の手当てを受けること (可能であれば本製品のラベル表示を見せること)。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。霧水。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂)。

使ってはならない消火剤

特になし

特有の危険有害性

可燃性である。火災になった場合、有毒ガスが発生するおそれがある。

消火を行う者の保護及び注意事項

火災時は、自給式呼吸器と完全防護服を必ず着用すること。

特有の消火方法

標準の消火方法を用いる。その他含有される原料の有害性も考慮すること。

一般的火災の危険性

特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
封じ込め及び浄化の方法・機材

不要な作業員を遠ざけること。関係者以外は近づけない。
 後片付けの最中は、適切な保護具及び保護服を着用すること。
 危険性がない場合、製品の流出を止めること。
 製品回収した後、汚染域は水で洗い流すこと。
 流出物は再利用目的で元の容器に戻さないこと。
 製品はパーミキュライト、砂又は土などの不燃性物質に吸収させ廃棄可能な容器に回収すること。後で廃棄処理する廃棄物処理に関しては、「13. 廃棄上の注意」を参照すること。

環境に対する注意事項

環境中への放出を避けること。
 排水溝、水路又は地表面への放出（排出）を避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
 安全取扱い注意事項

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 製品と目は接触させないこと。長時間のばく露を避けること。十分な換気経路を確保すること。適切な個人用保護具を着用すること。
 使用説明書をよく読み、正しい場所、正しい使用方法の元で取り扱うこと。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

接触回避

安全な保管条件

保管温度は 2 - 8°C の中で行うこと。しっかりした密閉容器を用いること。

8. ばく露防止及び保護措置

	CAS 番号	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
			日本産業衛生学会	ACGIH
ジエタノールアミン	111-42-2	未設定	未設定	TWA 1 mg/m ³
アジ化ナトリウム	26628-22-8	未設定	未設定	上限 0.29 mg/m ³ 0.11 ppm

※上記の組成は、製品の含有物質の中でも、PFL や TLV、その他推奨されるばく露限界が決められている物質である。

生物学的ばく露指標
設備対策

この成分に対する注意すべき生物学的ばく露指標はない。
 性質の良い一般換気装置を設置すること（例として、1 時間当たり 10 回空気交換するもの）。換気速度（効率）は一定であること。
 可能であれば、局所的換気装置やその他の設備対策を用いて囲い込み構造を使用すること。空中レベルを推奨されているばく露レベル以下に維持できるため。
 ばく露限界が設置できない場合は、空中レベルを許容されるレベルに維持すること。洗眼洗浄のための設備を設置すること。洗眼器（設備）を設置すること。

保護具

眼/顔の保護具

眼に入らないようにすること。
 サイドシールドのある安全眼鏡（あるいはゴーグル）を着用すること。
 噴水式眼洗浄を推奨する。

手の保護具

保護手袋を着用すること。
 ニトリル製の保護手袋を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。化学耐性手袋を使用すること。

呼吸器の保護具

排気、ヒューム、ガス、蒸気、スプレーを吸わないこと。

熱危険性

データなし

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	液体
	形状	データなし
	色	無色～淡黄色
臭い		データなし
臭いのしきい (閾) 値		データなし
pH		9.2
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発率		データなし
燃焼性 (固体、気体)		非該当
燃焼又は爆発範囲	可燃限界	データなし
	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度 (空気=1)		データなし
相対密度		データなし
溶解度 (水)		データなし
(その他)		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
熱分解温度		データなし
粘度		データなし
その他の情報	密度	1.11 g/cm ³ (推定)
	爆発性	爆発しない
	強酸性	酸性ではない

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品は通常の使用、保管、輸送条件下では安定でかつ非反応性である。
化学的安定性	通常の取り扱い温度、圧力等の条件下では安定である。
危険有害反応の可能性	危険な重合反応は起こさない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

ばく露経路情報		
	吸入	臓器の損傷が生じると推測される。 長時間の吸入は有害であると推測される。
	皮膚への接触	皮膚接触によって悪影響が及ぼされることは考えられていない。
	眼への接触	重篤な眼の損傷が生じる。
	経口摂取	データなし
	様々な症状	様々な眼刺激があり、症状の中には、刺すような痛み、裂傷、発赤、腫れ、霧視、なども含まれる場合があります。

化合物	種別	試験結果
ジエタノールアミン (CAS : 111-42-2)		
急性 (経口) LC50	ラット	710 mg/kg
アジ化ナトリウム (CAS : 26628-22-8)		
急性 (経皮) LC50	ウサギ	20 mg/kg
(経口) LD50	ラット	27 mg/kg

* 製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

急性毒性	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データ不足の為、分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	重篤な眼の損傷が生じる。
呼吸器感受性	データ不足の為、分類できない。
皮膚感受性	データ不足の為、分類できない。
生殖細胞変異原性	製品または含有成分が、0.1%より高い確率で変異原性もしくは遺伝毒性を引き起こすことを示すデータはない。
発がん性	データ不足の為、分類できない。
生殖毒性	データ不足の為、分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	臓器の損傷が生じる。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データ不足の為、分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足の為、分類できない。
その他情報	長時間のばく露は慢性的な影響を及ぼす。

12. 環境影響情報

生態毒性 この製品は環境的に有害であると分類されていない。しかし、高頻度の流出が環境に与える影響の可能性を排除 (否定) しているものではない。

化合物	種別	試験結果
バイダス アッセイキット スタッフ エンテロトキシン II - STR (X10)		
水生		
甲殻類 EC50	ミジンコ属	752.4215 mg/L, 48 hours
魚類 LC50	魚類	2217.1489 mg/L, 96 hours
ジエタノールアミン (CAS 111-42-2)		
水生		
甲殻類 EC50	オオミジンコ	61.8 - 86.04 mg/L, 48 hours
魚類 LC50	ファットヘッドミノー	100 mg/L, 96 hours
アジ化ナトリウム (CAS 26628-22-8)		
水生		
甲殻類 EC50	オオミジンコ	2.8 - 6.2 mg/L, 48 hours
魚類 LC50	ブルーギル	0.68 mg/L, 96 hours

* 製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

残留性及び分解性	この製品の分解性として提供できるデータはなし。
生物蓄積性	
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)	
ジエタノールアミン	-1.43
土壌中の移動度	データなし

他の有害影響

この成分からの環境に対するその他の有害影響はなしと推測。
 (例：オゾン層破壊の可能性、光化学的オゾン発生の可能性、内分泌かく乱の可能性または地球温暖化の可能性)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄処理規制 地方での処理規制 危険廃棄物規制 残留物/未使用製品の廃棄 汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規制基準に従うこと。 密閉できる容器に収集し、許可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。 全ての適用されている規制に従って処理すること。 廃棄物処理規制は会社や処理業者、使用者の間で話し合いのもと、選定すること。 廃棄においては、地方自治体の規制基準に従うこと。 空容器や裏地を廃棄する場合は、残留物がまだ残っている可能性があるため、安全な方法で処理しなければいけない。(処理方法は、残余廃棄物、廃棄処理規制の項を見ること。) 空容器は認可を受けた廃棄物処理場に受け渡し、リサイクルするか、適切な処分を行うこと。 空容器にも製品の残留物が残っている場合、容器が空になっても警告等の表示に従うこと。
--	--

14. 輸送上の注意

国際規制 国内規制	海上規制情報 航空規制情報 陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
------------------	--	--------------------------------------

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 化学物質審査規制法 (化審法) 労働安全衛生法	第1種指定化学物質 (政令番号：1-11) (アジ化ナトリウム) 優先評価化学物質 (官報整理番号：2-302, 2-354) (ジエタノールアミン) 既存化学物質 (官報整理番号：1-482) (アジ化ナトリウム) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (施行令第18条 別表第9の219) (ジエタノールアミン)
---	--

16. その他の情報

参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex III 国立医薬品食品衛生研究所 国際化学物質安全性カード bioMerieux Inc 製品 SDS (2017-11-20) 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
------	--

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	バイダス アッセイキット スタッフ エンテロトキシン II - R1 試薬
製品番号	30705
SDS No.	910-01
製造元	
会社名	bioMérieux Inc
住所	100 Rodolphe Street - Durham, NC 27712
電話番号	(800) 682-2666
会社名 (販売元)	バイオメリュー・ジャパン株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー2F
担当部門	薬事部
電話番号	03-6834-2666
緊急時の電話番号	03-6834-2718
FAX 番号	03-6834-2667
Website	http://www.biomerieux.co.jp/
推奨用途及び使用上の制限	試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性	区分なし
健康に対する有害性	皮膚腐食／皮膚刺激 区分 2 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激症状） 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
環境に対する有害性	分類できない
特別な有害性	データなし
GHS ラベル要素	

シンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H315: 皮膚刺激 H319: 重篤な眼刺激 H335: 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策	P280: 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 P305 + P351 + P338: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
応急措置	皮膚に付着した場合、直ちに、皮膚を多量の水で洗うこと。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。体調が優れない場合は、医師の手当て、診断を受けること。

保存方法 7. 取扱い及び保管上の注意 を参照。
 処理方法 13. 廃棄上の注意 を参照。
 その他の危険性 データなし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別		混合物（製造元の意向により、成分情報は非公開）	
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	CAS 番号
トリス（ヒドロキシメチル） アミノメタン	30%	C ₄ H ₁₁ NO ₃	77-86-1
その他	70%	—	—

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、症状が続く場合なら、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 水とせっけんで洗い流すこと。
 痛みが悪化する場合には、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 水で洗い流すこと。
 痛みが悪化する場合には、直ちに医師へ連絡をすること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。症状が続く場合なら、医師の診断を受けること。

最も重要な症状及び影響（急性/遅延性） 眼に接触した場合、一時的な痛みが生じるおそれ。

5. 火災時の措置

消火剤 データなし

使ってはならない消火剤 勢いのある水噴霧、棒状注水は被害を増大するため使用しないこと。

特有の危険有害性 火災になった場合、有毒ガスが発生するおそれ。

消火を行う者の保護及び注意事項 火災になった場合、自給式呼吸器と完全防護服は必ず着用すること。

消火方法及び指示 危険でなければ火災区域から容器を移動させること。

特有の消化方法 標準の消火手順を用いること。また、他の原料の危険性を考慮すること。

一般的火災の危険性 異常な火災、または爆発の危険はない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 不要な作業員を遠ざけること。
 適切な個人保護具については、8. 「ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材 危険性が低い場合は、製品の流出を止めること。パーミキュライトや乾燥した土砂で吸水し、容器に移すこと。回収でき次第、水でその場を洗い流すこと。
 少量の流出時：吸収性素材（例：布、フリース）で拭き取ること。
 汚染物質が残らないよう作業場所を清浄すること。

環境に対する注意事項 流出物は再利用目的で元の容器に戻さないこと。
 廃棄物処理に関しては、「13. 廃棄上の注意」を参照すること。
 排水溝、水路又は地表面への放出（排出）を避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項 使用説明書をよく読み、正しい場所、正しい使用方法の元で取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 保管温度は 2 - 8°C の中で行うこと。しっかりした密閉容器を用いて、かつ、換気のよい場所に保管すること。
混触危険性物質から遠ざけて保管すること。(10. 「安定性及び反応性」を参照)

8. ばく露防止及び保護措置

労働時のばく露限界

この混合物は PEL や TLV などの作業環境許容濃度、もしくは推奨されているばく露限界が定められた成分は含まれていない。

生物学的限界値

データなし

適切な技術的管理

データなし

保護具

眼/顔の保護具

サイドシールドのある安全眼鏡（あるいはゴーグル）を着用すること。

手の保護具

ニトリル製の保護手袋を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な個人用の保護衣を使用すること。

呼吸器の保護具

呼吸器保護具を装備する必要はない。

熱危険性

データなし

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体

形状

液体

色

無色透明もしくはほとんど無色

臭い

データなし

臭いのしきい（閾）値

データなし

pH

8

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発率

データなし

燃焼性（固体、気体）

非該当

燃焼又は爆発範囲

可燃限界

データなし

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度（空気=1）

データなし

相対密度

データなし

溶解度（水）

データなし

n-オクタノール/水分配係数

データなし

自然発火温度

データなし

熱分解温度

データなし

粘度

データなし

爆発性	データなし
強酸化性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品は通常の使用、保管、輸送条件下では安定でかつ非反応性である。
化学的安定性	通常の取り扱い温度、圧力等の条件下では安定である。
危険有害反応の可能性	危険な重合反応は起こさない。
避けてほしい条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

ばく露経路情報		
吸入	吸入によって悪影響が及ぼされることは考えられていない。	
皮膚への接触	皮膚接触によって悪影響が及ぼされることは考えられていない。	
目への接触	目へ直接接触した場合、一時的な眼刺激が生じる。	
経口摂取	経口の危険性は低いと推測。	
特徴的な症状	目へ直接接触した場合、一時的な眼刺激が生じる。	
有毒性の影響情報		
急性毒性	データなし	
皮膚腐食性/刺激性	長期的に皮膚への接触があった場合、一時的な刺激が生じる。	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	直接目に入った場合、一時的な眼刺激が生じる。	
呼吸器感作性	呼吸器感作性はない。	
皮膚感作性	この製品は皮膚感作を生じないと推測される。	
生殖細胞変異原性	製品または含有成分が、0.1%より高い確率で変異原性もしくは遺伝毒性を引き起こすことを示すデータはない。	
発がん性	人間への発がん性はない。	
生殖毒性	この製品は、生殖または発達に影響を及ぼす可能性は低いと推測される。	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
その他情報	誤嚥の危険性はない。	

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境的に有害ではないと分類されている。しかし、大量または高頻度の流出が環境に与える影響の可能性まで排除（否定）しているものではない。
残留性及び分解性	この製品の分解性として提供できるデータはなし。
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動度	データなし
他の有害影響	この成分からの環境に対するその他の有害影響はなしと推測される。 (例：オゾン層破壊の可能性、光化学的オゾン発生の可能性、内分泌かく乱の可能性または地球温暖化の可能性)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄処理規制	収集・回収、または密閉容器に入れて、認可されている廃棄物処理場へ引き渡すこと。 内容物や容器の廃棄においては、地方規制並びに地方自治体や国際規制基準に従うこと。
地方での処理規制 危険廃棄物規制	全ての適用されている規制に従って処理すること。 廃棄物処理規制は会社や処理業者、使用者の間で話し合いのもと、選定すること。
残留物/未使用製品の廃棄	廃棄においては、地方自治体の規制基準に従うこと。 空容器や裏地を廃棄する場合は、残留物がまだ残っている可能性があるため、安全な方法で処理しなければいけない。(処理方法は、残余廃棄物、廃棄処理規制の項を見てください。)
汚染容器及び包装	空容器にも製品の残留物が残っている為、容器が空になっても警告等の表示に従うこと。空容器は認可を受けた廃棄物処理場に受け渡し、リサイクルするか、適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 航空規制情報	該当なし 該当なし
国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報 ²	該当なし 該当なし 該当なし

15. 適用法令

化学物質審査規制法 (化審法)	既存化学物質 (官報整理番号: 2-318)
--------------------	------------------------

16. その他の情報

参考文献	bioMerieux Inc 製品 SDS (2019-10-02) 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
------	---